

第1号様式(第1条関係)

(表)

福 島 県 奨 学 生 願 書					※受付番号						
					※決定番号		高・大 第 号				
					ふりがな		性別				
					氏 名						
					生年月日		年 月 日(満 歳)				
在 学 学 校	立				本 籍						
	部 制 科 学年				現 住 所		電話番号 ()				
	電話番号 ()				希 望 事 項		貸与月額 円				
同上の 所在地							貸与期間 年 月から 年 月まで				
							大学等入学一時金 円				
家 族 の 状 況	氏 名 (生計維持者と別居している者には×印をつけること。)	続柄	年齢	職 業	勤 務 先 又 学 校	疾病の有無	収入(税込)金 額 千円	所得(税込)金 額 千円	※		
	1	本人									
	2										
	3										
	4										
	5										
	6										
	7										
	8										
	9										
	10										
計 名											
連 帯 保 証 人	ふりがな					保 証 人	ふりがな				
	氏 名						氏 名				
	生年月日		年 月 日(満 歳)				生年月日		年 月 日(満 歳)		
	本人との続 柄		年間収入(税込)		千円		本人との続 柄		年間収入(税込)		千円
	本 籍						本 籍				
	現 住 所		電話番号 ()				現 住 所		電話番号 ()		

裏面の記載上の注意を読んでから記入してください。

(裏)

参 考 事 項	奨学金を希望する理由					
	現在受けている、又はこれから受けようとする他の修学のための資金	有・無	修学のための資金の名称		資金の種類	
					貸与 ・ 給付	
					貸与 ・ 給付	
					貸与 ・ 給付	
	本人の履歴	年 月 日	履 歴			
		年 月 日	立 中学校入学			
		年 月 日				
		年 月 日				
		年 月 日				
		年 月 日				
		年 月 日				
		年 月 日				
	1カ月当たりの平均学費 (収入=支出)	収 入		支 出		備 考
		家 庭 か ら	円	生 活 費	円	
アルバイト等から		円	交 通 費	円		
県奨学資金から		円	学 校 納 付 金	円		
そ の 他 か ら		円	書 籍 ・ 学 用 品	円		
			そ の 他	円		
計		円	計	円		

以上の記載事項に相違ありません。
 奨学生として採用された場合は、福島県奨学資金貸与条例その他の関係規程の規定を守り奨学生としての責務をはたすことはもとより、奨学資金の返還についても誠実にその義務を履行します。

上記のとおり保証人と連署して誓約します。

年 月 日

福島県教育委員会教育長

申請者 (自 筆) ㊟

連帯保証人 (自 筆) ㊟

保証人 (自 筆) ㊟

記載上の注意

- (1) 「※」印の欄は、記入しないでください。
- (2) 連帯保証人とは、福島県奨学資金貸与条例第5条第2項に規定する者をいう。
- (3) 現在受けている、又はこれから受けようとする他の修学のための資金が有る場合は「修学のための資金の名称」の欄に当該資金の名称を記入し、「資金の種類」の欄の該当する種類を○で囲んでください。
- (4) 「本人の履歴」の欄には、中学校入学以来の学歴、職歴等について記入し、休学、転学、退学等の身分の異動については、理由を付して記入してください。
- (5) 「1カ月当たりの平均学費」の欄には、在学生にあつては直近の1カ月当たりの平均学費を、新入生にあつては入学後の1カ月当たりの見込額を記入してください。なお、自宅通学者にあつては、生活費の記入を要しません。

「連帯保証人」は、原則として福島県内に居住する(住民票がある)親権者等。

「保証人」は、要学生本人及び連帯保証人と別居・別生計の成年者で、返還期間中にわたり返還の責めを負うことができる方にしてください。

※やむを得ない場合を除き65歳以下の方にしてください。

第1号様式(第1条関係)

福島県奨学生願書				※受付番号 ※決定番号		高・大 第 性 別 ふくしま たろう 男	
氏名				ふりがな		福島太郎	
生年月日				平成〇年〇月〇日(満16歳)			
本籍				(往氏票本籍を記載とおりに記入)			
現住所				(※実際の居所を記載とおりに記入) 電話番号 090 (XXXX) XXXX			
希望事項				貸与月額 23,000円			
希望事項				貸与期間 平成29年4月から平成32年3月まで			
大学等入学一時金				疾病の有無		収入(税込) 金額 千円	
勤務又は不在				先学先		所得(税込) 金額 千円 ※	
職業				業			
年齢				続柄			
本人				父			
母				母			
姉				兄			
祖母				兄弟			
無職				専門課程1年			
無職				専門学校			
H29.1月~ 12月までの収入見込を記入。				有			
6名				ふりがな		こおりやま としお	
氏名				福島大介		郡山俊夫	
生年月日				昭和〇〇年〇月〇日(満〇〇歳)		昭和〇〇年〇月〇日(満〇〇歳)	
本人との続柄				父		叔父	
年間収入(税込)				6,800千円		年間収入(税込) 〇〇〇千円	
(往氏票本籍を記載とおりに記入)						(往氏票本籍を記載とおりに記入)	
本籍				現住所		現住所	
現住所				電話番号 090 (XXXX) XXXX		電話番号 090 (XXXX) XXXX	

今年度貸与または申請中の奨学金の有無を○で囲んでください。
「有」の場合は、奨学金名を記入して、奨学金の種類を○で囲んでください。
※「高校生等奨学給付金」は記入不要。

奨学金を希望する理由	兄が県外の専門学校に在学しており、また、父が単身赴任中であることから、少しでも家計の負担を少なくするため、奨学金を希望します。		
	現在受けている、又はこれから受けるための資金	有	
参考事項	修学のための資金の名称	〇〇市奨学金 申請中	
	奨学金の種類	貸与・給付 貸与・給付 貸与・給付	
本人の履歴	年 月 日	歴	
	H26年 4月 1日	〇〇市立 〇〇中学校入学	
	H29年 3月 31日	〇〇市立 〇〇中学校卒業	
	H29年 4月 1日	〇〇県立 〇〇高等学校入学	
	年 月 日		
	年 月 日		
	年 月 日		
	年 月 日		
取	入	出	
家庭から	5,000円	生活費	15,000円
アルバイト等から		交通費	
県奨学資金から	23,000円	学校納付金	
その他から		書籍・学用品	5,000円
		その他	8,000円
計	28,000円	計	28,000円

採用された場合の奨学資金額を記入して下さい。
※例は県立高校自宅外通学者の場合

申請時にわかっている範囲で、毎月の奨学資金の利用予定を記入してください。
「収入計」と「支出計」が同額になるよう内訳を計算してください。

以上の記載事項に相違ありません。
奨学生として採用された場合は、福島県奨学資金貸与条例その他の関係規程の規定を守り、奨学生としての責務をはたすこととはもとより、奨学資金の返還についても誠実にその義務を履行します。
上記のとおり保証人と連署して誓約します。

署名日を忘れずに！

平成〇年〇月〇日
福島県教育委員会教育長

申請者
(自筆)
連帯保証人
(自筆)
保証人
(自筆)

福島 太郎
福島 大介
郡山 俊夫

① 必ず自筆で署名。
② 申請者(生徒)、連帯保証人、保証人は、必ず別々の印鑑で押印してください。
(印影が不鮮明な場合は、余白に押し直し)
※兄弟姉妹で同時申請される場合は、生徒同士も別々の印鑑で押印。

第2号様式（第1条関係）

※受付番号

福島県奨学生推薦調書														
氏名					在学 学校	立					部 制	科	年	
出身 (在学) 学校の成績	教 科													
	年													
	年													
	教 科													成 績 平均値
	年													
	年													
推 薦 所 見 〔学 力〕 〔人 物〕 〔家 庭 状 況〕														
参 考 事 項		(在学学校の学業成績の席次 人 中 位)												
上記の者は、人物及び学術ともに優秀であるが、著しく学費の支弁が困難であり、奨学生として適当と認められますので、推薦します。 年 月 日 学校長（学長） 印 福島県教育委員会教育長														
※ 判 定														

記載上の注意

- (1) 「※」印の欄は、記入しないでください。
- (2) この調書は、被推薦者の在学する学校等で記入押印してください。
- (3) 「出身（在学）学校の成績」の欄については、当該欄の記載事項と同様の成績証明書等を添付する場合には、記入を要しません。

在学する学校で作成してください

※高校の場合は科目

1年生は、中学校における最終学年の全履修教科の成績を教科ごとに記入してください(指導要録の写しより転記願います。)

2年生は、在学学校における1年次の、3年生は1、2年次の全履修科目の成績を学年、科目ごとに記入してください。

専攻科(高等課程)は、学年によらず直近2ヶ年分の全履修科目の成績を学年、科目ごとに記入してください。

また、卒業後5年以上経過し、成績証明書が取得できない場合は、各学校において、入学試験等の成績により5段階評価に換算して記入してください。

日付、学校名、校長名の記入と職印の押印を、忘れずにお願います。

記入もれ注意。
全日制/定時制/通信制のいずれかを記入してください。

「成績平均値」の欄は、全履修教科(科目)の評定の合計を全履修教科(科目数)で割った値(小数点第2位で四捨五入)を記入してください。

「推薦所見」の欄は、申請者の学力、人物、家庭状況等の観点から記入してください。

席次を含めて、参考事項がない場合は記入は不要です。

氏名	福島 太郎		在学学校	〇〇県立 〇〇高等学校		部	〇〇科	1年												
出身(在学)学校の成績	教科	3年	国語	5	数学	4	理科	4	社会	5	英語	4	音楽	4	美術	3	技術	3	保健体育	3
推薦所見	学力 人物 家庭状況																			
参考事項	(在学学校の学業成績の席次 人中 位)																			
上記の者は、人物及び学術ともに優秀であるが、著しく学費の支弁が困難であり、奨学生として適当と認められますので、推薦します。																				
平成 〇〇年 〇月 〇日																				
〇〇県立 〇〇高等学校 学校長 (学長)																				
福島県教育委員会教育長																				
※ 判定																				

記載上の注意

- (1) 「※」印の欄は、記入しないください。
- (2) この調査は、被推薦者の在学する学校等で記入押印してください。
- (3) 「出身(在学)学校の成績」の欄については、当該箇の記載事項と同様の成績証明書等を添付する場合には、記入を要しません。

【福島県奨学資金利用】

区分	処理	債権者コード	ド
401			

注： 姓と名の間は1文字あけて記入してください

[illegible]

執行機関
会社区分
住所
郵便番号

注： 都道府県・区市町村・大字・通称名・町・字・丁目（県外の場合は区市町村まで）を記入してください

フリガナ										
住所	都 道 府 県									
	電話番号									
注：市外局番からハイフンなしで記入してください										

注： 番地を簡略せず記入してください（県外の場合は大字以下の住所を記入願います）

[illegible]

支払方法

[illegible]

※ ゆうちょ銀行のみ、通帳の見開き1頁目のA4コピーを必ず添付してください。(金融機関確認は不要)
※ 口座番号を訂正した場合や銀行窓口に向くことができない場合は、通帳(銀行名/支店名/口座番号/カナ口座名がわかる頁)のA4コピーを添付してください。

重刊

上記のとおり申請します。

平成 年 月 日

氏名

五

執行機關名 高校教育課

決定番号	学校名
29高第	
	号

記入上の注意

- 裏面の記載例を参考に、色のついた欄を記入してください。
- 生徒の居住生所を、住民票・居住証明書等の記載どおり、そのまま写してください。
- 右下の生徒署名/日付/捺印のまれ注意。

※金融機関へのお問い合わせについて

金融機関は、左記の金融機関名、店舗名、金融機関コード、預金種別、口座番号、口座名義人(カナ)について確認及び記入のうえ下記確認欄に確認印を押印願います。

金融機関確認欄		確認者印
確認日	金融機関名	
	店舗名	

記載例

決定番号	学校名
29高第	〇〇高等学校

記入上の注意

- 裏面の記載例を参考に、色のついた欄を記入してください。
- 1 生徒の居住住所を、住民票・居住証明書等の記載どおり、そのまま写してください。
- 2 右下の生徒署名/日付/捺印のもれに注意。

日中の連絡先を記入。

市外局番からハイフンなしで記入してください

0	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

電話番号

実際に住んでいる住所を
住民票または居住証明書等の記載
どおりに記入してください。

特に「〇〇番地の〇号」の「番地」「の」「号」「建物名」は、記載されたままを写すこと。

誤→「 Δ 市 Δ 2-16 A-201」
(簡略不可!)

C#	2	注: 姓と名の間は1文字あけて記入してください	フリガナ	フクシマ	タロウ	太郎
			生徒氏名	福島		

C#	1	注: 都道府県・区市町村・大字・通称名・町・字・丁目 (県外の場合は区市町村まで) を記入	フリガナ	フクシマ	フクシマシスギツマチヨウ	郵便番号	960-868
			住所	福島	福島市杉妻町		
		注: 番地を簡略せず記入してください (県外の場合は大字以下の住所を記入願)	フリガナ	2ハンチノ16ゴウ	2番地の16号		
		注: ビル名、アパート名等を記入してください	フリガナ	ケンエイシスギツマダンチエートウ201ゴウシツ	ケンエイシスギツマダンチエートウ201ゴウシツ		
			方書	県営杉妻団地A棟	201号室		

C#	支払方法
----	------

1	口座振替	金融機関名	店名	金融機関コード
		東邦銀行	県庁支店	
	預金種別 (※貯蓄口座は利用できません)	口座番号(右づめ)		
1	1. 普通預金 又は 総合口座	0099999		
	口座名義人 (※生徒本人名義をカナで記入)			
	フクシマ タロウ			

備考欄

※ ゆうちょ銀行の通帳に口座番号の記載が無い場合には、余白に「記号」「番号」を記入。

(例)
記号18280 番号999991

※ ゆうちょ銀行の場合は、各金融機関で必要となる場合は、各金融機関で確認を受けてください。

金融機関コード
金融機関名
店名
金融機関コード

金融機関確認欄
確認日
確認者印

生徒署名・捺印と日付記入を忘れずに!

福島県知事 上記のとおり申請します。

※ ゆうちょ銀行のみ、通帳の見開き1頁目のA4コピーを必ず添付してください。(金融機関確認は不要)
※ 口座番号を訂正した場合や銀行窓口に出向くことができない場合は、通帳(銀行名/支店名/口座番号/カナ口座名がわかる頁)のA4コピーを添付してください。

福島太郎印

※ 寮生は学校作成の在寮証明書で可

(注)

実際の住所が住民票と
異なる場合のみ提出

居 住 証 明 書

下記のとおり相違ないことを証明します。

記

1 居住者の氏名

2 住居の所在地（〒・建物名・部屋番号も記入してください。）

3 居住の期間

年 月 日から現在（平成 年 月）まで

平成 年 月 日

証明者（住居の所有者又は貸主）

住所

氏名

印

(注) 該当者のみ
提出

特別の事情にかかる経費内訳

平成 年 月 日

福島県教育委員会教育長

(生徒名)

申請者

特別の事情にかかる経費については、下記のとおりです。

記

【該当項目】 ※該当する項目の番号に○をつけてください。

- 1 障がい者がいる。 (該当者 分)
2 長期療養者がいる。 (該当者 分)
3 家計支持者が別居している。
4 火災・風水害・盗難などの被害を受けた。

(単位:円)

年・月						月計
平成 年 月						
年 月						
年 月						
年 月						
年 月						
年 月						
年 月						
年 月						
年 月						
年 月						
年 月						
領収書計						
年間推算額						

(注1)「障がい者がいる場合」：障がい者手帳のコピーを添付してください。

(注2)「長期療養者がいる場合」：病院・医師の「領収書(申込時まで6か月以上継続療養中のもの)」を添付し、年間所要見込額を推算してください。

※「障がい者がいる場合」に該当した場合は重複しての控除はできません。

(注3)「家計支持者が現在別居している場合」：表に家賃・電気・ガス等の費用項目を記入し、各々最新の数ヶ月分の領収書を添付し、年間所要見込額を推算してください。

(注4)「火災・風水害・盗難」：罹災証明書、被害届等を添付し、被害総額を推算してください。

(注5) 証明書類の添付がない場合は控除の対象になりません。

(注)

転職された方のみ提出
(昨年から申請時まで)

給与等支払（見込）証明書（雇用契約内容について記入）

- 1 被雇用者氏名 _____ (_____ 年 _____ 月 _____ 日生)
- 2 採用年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日（臨時採用（試用期間）がある場合はその発令日を記入）
- 3 健康保険の加入 有（ _____ 年 _____ 月 _____ 日から加入）
無（加入できない理由 _____）
- 4 給料、賃金等
・月給制 月 額 _____ 円
・日給制 日 額 _____ 円（1か月平均勤務日数 _____ 日）
・時間給制 時 給 _____ 円
- 5 勤務を要しない日 日・月・火・水・木・金・土・祝祭日（○で囲む）
- 6 月平均の勤務時間（1日 _____ 時間 × _____ 日 = _____ 時間）
- 7 給与等支払状況（採用年月日から1年間分（見込みを含む）を記入）

支払 (見込) 年 月	支払金額（支払区分ごとに記入）			
	給料等	通勤費	超勤等分	合計
賞 与				
賞 与				
合 計				

上記のとおり相違ないことを証明する。

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

住 所 _____

電話 _____ (_____) _____

事業所名 _____

事業所長 _____

印

緊急採用・震災特例採用について

緊急採用について

家計の急変（主たる家計支持者の解雇、退職、死亡、離別、破産、病気、事故、災害等）により緊急に奨学資金が必要となった場合の採用は随時行っています。

家計急変の事由発生が1年以内で、急変の事由を明らかにする証明書の提出が必要です。

また、貸与期間は年度内までで、状況が改善しないと認められた場合、翌年度1年間に限り延長することができます。詳しくは、在学している学校若しくは福島県教育庁高校教育課にお問い合わせください。

震災特例採用について

「緊急採用」とは別に、東日本大震災により被災し、次のいずれかの事由により修学が困難となった生徒を対象に、「震災特例採用」の制度があります。平成28年度の募集については、5月に別途お知らせします。

対象者（平成28年度参考）

- ① 申込者の居住する家屋が全壊・半壊又はこれに準ずる被災をした場合
- ② 警戒区域又は計画的避難区域内に居住していて避難した場合
- ③ 緊急時避難準備区域、屋内退避指示が出た区域等に居住していて市町村の判断により避難した場合
- ④ 主たる生計支持者が死亡・行方不明又は重篤な障がい・疾病を負った場合
- ⑤ 主たる生計支持者の勤務先等が被災したことにより失業又は収入が著しく減少した場合
- ⑥ その他、被災により、申込者の属する世帯の家計の支出が著しく増大又は収入が減少した場合で、学校長が特に必要と判断し県教育委員会が認める場合

※ 卒業後の本人の収入見込みにより、柔軟な返還免除制度があります。